

2013年度 日本文化人類学会 第2回 理事会 議事録

日時：2013年5月25日（土）14:00～16:50

会場：上智大学四谷キャンパス2号館2-630a

出席者：小泉、綾部、赤堀、上杉、池田、窪田、棚橋、出口、中谷、松田、山本
委任状提出：春日、亀井、岸上、栗本、佐々木、清水、曾我、高倉、三尾、森山
欠席者：小田、和崎

〔承認事項〕

1. 2013年度第1回理事会議事録について、文言修正の上承認。
2. 新入会員（8名）・再入会員（1名）につき、総務会で入会を承認したことを報告の上、事後承認。

〔報告事項〕

1. 広報理事報告
 - ・前回理事会以降、会員連絡用メーリングリストの運用内規に基づき6件のJASCA-INFO配信を行ったことを報告。
2. 各種委員会報告
 - ・『文化人類学』編集委員会：第78巻1号の進捗状況を報告。引き続き投稿の呼びかけを要請。また、第78巻4号以降の特集企画について理事からの提案も受けつけていることを報告。
 - ・JRCA編集委員会：Vol.14の進捗状況を報告。引き続き投稿の呼びかけを要請。
 - ・課題研究懇談会担当委員会：棚橋理事より委員会に対して今年度の新規募集要領と募集スケジュールの検討、JASCA-INFO配信文案等の作成を依頼。
 - ・研究大会運営検討委員会・研究発表査読委員会：第47回研究大会準備委員会より報告された事前参加登録者数および懇親会参加者数について報告。
 - ・学会賞選考委員会：第9回学会奨励賞の選考に入ったことを報告。
3. その他
 - ・国際交流基金情報センターライブラリーより *Japanese Review of Cultural Anthropology* の既刊及び最新刊について寄贈依頼があったことを報告。JRCA編集主任の窪田理事の意見を得た上で、総務会で審議した結果、公益性と広報に鑑み、今後刊行予定の号を含め寄贈を承認したことを報告。

〔審議事項〕

1. 「東日本大震災の被災会員に対する2013年度会費徴収特例措置」に関わる申請について
 - ・本件につき2件の申請があり、総務会の事前検討の結果に基づいて審議の結果、2件とも承認。
 - ・2014年度以降、東日本大震災の被災会員に限定せずに各種の事由により会費納入に困難を来している会員を対象とした会費徴収特例措置を実施することの是非について意見交換を実施。本件は今後も継続して審議することとした。
2. 2012年度事業報告案・2013年度事業計画案について
 - ・棚橋理事より、資料に基づき2012年度事業報告案・2013年度事業計画案について前回理事会以降の変更部分を中心に説明があり、各理事に担当部分を含む全体確認が要請された。両案を次回理事会で確定し評議員会へ諮ることを確認した。
3. 2013年度予算案について
 - ・欠席の三尾理事に代わり棚橋理事より、2013年度予算案について前回理事会以降の変更部分を中心に説明があり、次回理事会で確定し評議員会へ諮ることを確認した。
 - ・2012年度決算については費目間の金額変更があったため、再監査を経て次回理事会で報告することとした。
4. 学会賞選考規則の改正について

- ・学会賞選考委員会委員長より選考規則改正原案が提示され、学会賞の現状と今後に関する意見交換を含む原案の検討を実施。学会賞に関する将来構想と学会賞選考規則の改正については学会賞選考委員会で原案策定のための検討を継続するとともに、理事会で継続して審議することとした。
- 5. 若手支援検討のためのワーキンググループについて
 - ・欠席の森山理事に代わり棚橋理事より、前回理事会での若手会員支援策立案の承認を受け、文化人類学教育委員会の下に「若手支援検討のためのワーキンググループ」を設置することとメンバーについて提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。併せて、同ワーキンググループの開催に関わる支出は文化人類学教育委員会の経費として扱い、場合により、予備費で対応することを確認した。
- 6. 学会 50 周年記念事業について
 - ・第 1 回学会 50 周年記念事業準備委員会議事録に基づき、案件の確認を行った。
 - ・小泉委員長より、韓国文化人類学会のフォーラムへ出席し、学会 50 周年記念国際研究大会について周知したことが報告された。
 - ・日本文化人類学会 50 周年記念国際研究大会について学会 50 周年記念事業準備委員会での検討を経た次の事項について審議を行った結果、承認された。
 - ①募金呼びかけにあたっての組織体制について
 - (1) 会長を委員長とする。
 - (2) 募金事務局を設置し、事務局長を置く。
 - (3) 呼びかけ人を置く。
 - ②企業に対する寄附の依頼について
 - (1) 日本民族学会創立 50 周年事業（1984 年）の実績を参考とする。
 - (2) 寄附依頼用のパンフレットを早急に作成する。
 - ③会員に対する寄附の依頼について
 - (1) 2013 年度総会で寄附の呼びかけを行う。
 - ・小泉委員長より、日本文化人類学会 50 周年記念国際研究大会について第 1 回学会 50 周年記念事業準備委員会での検討を経た次の事項について報告がなされ、了承された。
 - ①日本文化人類学会 50 周年記念国際研究大会プログラム編成案を報告。パネルの種類・内容・構成、call for paper/panel のスケジュール、abstract 等の原案について説明。
 - ②国立民族学博物館と国立新美術館との企画展示の準備状況を説明。企画展タイトルの原案が「イメージの力」（英語タイトル：“Power of Images”）に決定し、サブタイトル部分については今後も検討がなされることを報告。
 - ③学会 50 周年記念国際研究大会について、総会承認後、学会ホームページに開催に関する概報を掲載する予定であることを報告。
- 7. その他
 - ・棚橋理事より、第 26 期評議員選挙委員長の選出について説明があり、審議の結果、総務会案が承認された。併せて、委員の選任と交渉については、総務会に一任することとした。
 - ・「国際第四紀学連合(INQUA)第 19 回大会」（2015 年、名古屋）の共催依頼があったことが報告され、審議の結果、後援・協賛での協力が可能との回答を行うことが承認された。
 - ・2013 年度総会で黙祷を捧げる物故会員について確認を行った。
 - ・次々回（第 4 回）理事会について日程調整を行った結果、7 月 20 日（土）の開催を決定した。
 - ・研究大会時の日程について次の通り確認を行った。
 - ・第 3 回理事会： 6 月 8 日（土）10:30～11:30@慶應義塾大・三田キャンパス西校舎 515 教室
 - ・第 1 回評議員会： 6 月 8 日（土）11:30～13:00@慶應大・三田キャンパス西校舎 515 教室
 - ・2013 年度総会、第 8 回学会賞・奨励賞授賞式：6 月 9 日（日）12:30～14:50@慶應大・三田キャンパス 西校舎ホール

以上